

さいたま高齢協だより

おひさま

春
号

生活協同組合・さいたま高齢協
〒359-1103 所沢市向陽町 2001-3
TEL: 04-2941-2111
FAX: 04-2941-2099
<https://www.saitama-senior-coop.com/>

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の即時停止と、 平和的な解決を求める声明

ロシアのウクライナへの軍事侵攻から2週間が経過しました。

2月24日にロシアの侵攻が始まってから、これまでの攻撃でウクライナ国内ではテレビ塔や住宅地、学校、更に原発施設への爆撃も行われ、子供を含めた多くの民間人が犠牲になり、国外に脱出した避難民も210万人を超え、非人道的な兵器であるクラスター爆弾や燃料気化爆弾を使用したなどの報道もされており、実態は民間人を巻き込んだ「無差別攻撃」という悲惨な戦争状態になっています。

ロシアのウクライナへの軍事侵攻は、武力により現状変更を迫るものであり、国連加盟国の主権、独立、領土保全の尊重、武力による威嚇禁止という国連憲章の原則に反し、国際社会の平和秩序の根幹を揺るがしかねないものであり、断じて許すことはできません。

また、プーチン大統領の核保有国大国であることを誇示しての核兵器の使用による威嚇はあるまじき行為であり、核戦争に向かう危機的な状況をつくりだすものとして絶対に許すことはできず強く抗議します。

私たち日本高齢者生活協同組合連合会は、戦禍の苦しみを実際体験した世代が、核なき平和な世界への願いをもって設立された協同組合として、そして戦争被爆国である日本の協同組合の一員として、ここに、ロシア政府に対しウクライナへの軍事侵攻を即時停止し軍隊の撤退を行う事、国連憲章を守り外交努力による平和的な解決を求めることを強く求めます。

2022年3月10日

日本高齢者生活協同組合連合会 常任理事会

戦争行為は、いかなる理由を並べようと、無差別・大量殺りくです。「平和とよりよき生活のために」の理念を掲げ、平和憲法のもとで、核も戦争もない世界をめざして来たのが私たちの協同組合運動です。高齢協連合会はロシア大使館に上記「声明」を届けました。

第17回通常総代会のご案内

総代会はさいたま高齢協にとって一番大切は組合員の皆さんの会議になります。コロナ感染の終息が見通せず、今期も書面議決を優先しますが、Webでの視聴も可能な状況で開催します。

日時 2022年6月12日(日)14時～
場所 所沢市向陽町 まあち会議室
主な議題 ①21年度の活動と決算 ②剰余金
処分 ③22年度の活動方針 ④役員選任

財政から見る介護保険制度の課題

介護サービスの担い手をどうする？ 介護現場の取組に期待する

淑徳大学コミュニケーション学部
学部長 鏡 諭さん

介護保険が5番目の社会保険制度としてスタートして22年目になる。措置制度から社会保険制度への変更で、給付(サービス)を自ら選ぶ仕組みになった。給付と負担の関係をめぐっては政治的な駆け引きが創設時から続いている。今は負担を抑えることが制度維持という話の中心になっている。その結果、一番の問題となっている

介護保険の賃金が上がり、介護人の不足という問題が生まれている。

介護保険制度がスタートした2000年4月に、機関委任事務と団体事務が廃止となり、自治体の仕事は自治事務と法定受託事務となった。その自治事務の一つに介護保険制度があり、市町村がサービスの量と保険料を決定する仕組みとなっている。

介護保険財政を見ると、2000年は3.6兆円だったが、年々増加し2020年には1兆2兆円へと3.3倍以上に膨らんだ。一方で、介護保険料は第1期の20911円から第8期の6014円と2.07倍に留まった。理由は、予防サービスなど給付内容の変更・縮減である。これは、高齢社会と共に増加する介護(社会保障費)

の伸びを、GDPの伸びに近づけないければ、負担が難しくなるためである。推計値では2012年から2025年のGDPの伸びは1.27倍。介護給付費は2.34倍と考えられている。

介護保険の利用は概ね80歳台から始める人が多い。その要因の第1位が認知症である。認知症を患った家族の悲しさは相当深刻だ。この6年間で135件の介護殺人が起こっている。NHKでも「介護殺人」という番組があった。やむにやまれず死を選択する背景には、介護サービスの量が十分足りていない現実がある。特別養護老人ホームも不足しているし、相談窓口も十分じゃない。つまり認知症を支える仕組みは整っていないということだ。

多くの高齢者には、「介護保険がある」という漠然とした安心感があるようだ。しかし、介護サービスは足りていない。自治体も保険料を上げた

くないので、特養は作らないようになってきている。プチ富裕層に向けてサ高住や高齢者住宅が増えている。特養に入るのは宝くじに当たるようなところがある。特養は個室ではなく多床室でも良い。実際多床室で空きがない。判定も施設ではなく、措置制度と同様に市町村が要介護者の社会環境を見て判断すべきだと思う。特養の役割を再度議論する必要がある。

介護報酬の変遷を全体としてみると、表面的には0.36%のプラスになっている。しかし内容に問題がある。処遇改善は職種限定であり、条件によっては中小事業者には難しく、プラス改定を受け取る余裕もない処があり、経営悪化の原因になっている。

基本報酬のアップが必要だ。訪問系の常勤職員で月額209,9319円、臨時職員で130,342円となっている(日本介護クラフトユニオン)。全産業の平均は月額

307,700円なので10万円低い。岸田政権で9000円の措置をするというが全く足りない。介護報酬を最低でも8%上げる必要がある。

厚労省の資料では「2035年に79万人の介護労働者が不足する」ということになっている。大学でも福祉系の処で定員割れという事態があり、学科を閉じた処もある。親も福祉業界に進むことを勧めない。3K職場が定着している。非常に残念だ。上野千鶴子さんが言うように、介護を家事労働の延長でしか見ていないようだ。介護労働の社会的評価を高める運動がどうしても必要になっている。コロナ感染で離職も続いている。次の世代の人が働きたいと思う環境を整備しないと79万人の不足は解消しない。そのためには、介護報酬を上げる必要がある。

介護報酬を下げたことで、働

に増加する介護(社会保障費)

介護サービスを維持するには、それに見合う負担が必要だ。担い手が居なければ、サ

ービスがなくなるといいう危機感を感じて欲しい。

報酬改定とは違い自治体でも取組めることはある。例えば、介護職員の経済支援、居住費の補助や保育園の優先入所など、介護サービスを継続する為の工夫も必要だ。3年ごとに見直す介護保険計画の策定では、必要とされるサービスと負担の関係をもっと議論して欲しい。介護保険計画は市民との社会契約であり、市民も関心をもつ必要がある。ここに自治事務の神髄がある。介護現場にも介護の実態を伝える責務があると思う。

【質疑】

・自分が介護を受ける立場になると、担い手不足は深刻だ。

・若い人に介護に関心を持ってもらう為に給与を上げるのが良いと感じた。
・介護の魅力を伝えていきたい。

・ヘルパーが高齢化し次の

世代が育っていない。介護は誰にでもできる仕事ではない。世間の評価がおかしい。公務員化しても良いと思う。介護は大変な仕事で、若い人に無理じゃないかと思う。元気で長生きが私たちに課せられた現実。

・みんなで声を上げる場所がない。↑鏡\介護現場の実際を文書にして欲しい。個人情報に配慮して共有化できる資料にする。これがまとまると大きな資料にもなるし、おそらくエネルギーにもなる。読んだだけで感動してもらえる話はたくさんあると思う。政治的な集会で声をということではない。これが声を上げる第1歩だと思う。

・日々の業務の忙しさで文書化までは難しい。↑鏡\業務が忙しいから何もしなければ変わらない。事務の効率化も必要だろう。介護現場の実態を伝えるのは重要だ。

・若者は高齢者とのコミュニケーションが苦手。私たちは

報酬を超えてやりがいを感じている。若い世代にそれを望めるか。効率重視という考え方があると若者に期待ができない。いくつになっても自分の役割があったら良いなどと思う。↑鏡\福祉系の学校に通う若者は少ないが、介護労働の処遇や内容に課題がある。介護保険制度の継続はやはり必要。効率重視で役割分担と非正規労働、AI\ロボットの利用などが大手のフランチャイズ化で進みそうだ。しかし、このような介護には問題がある。魅力ある介護労働にはならないと思う。

・ケアマネの研修で認知症サポーターが話題になったが、活動になっていない。いま活動している私たちが頑張るしか制度も維持できないと思うと心が折れそうになる。私たちが貴重な社会資源になっていると思っ張っている。↑鏡\オレンジリングの取得者を「市民後見

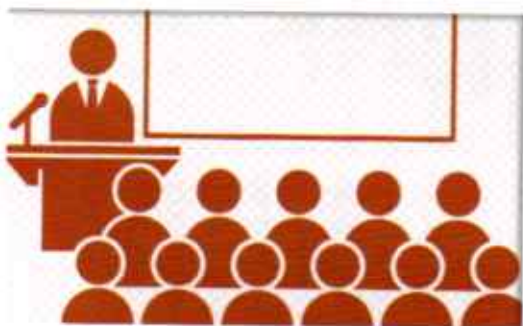
人」へという動きもあったが、成年後見への対応には無理があったようで、社会福祉士などの専門職が多くなっている。オレンジリングも社会で支えるという運動であって、具体的な役割を期待するものではなかったと思う。地域にニーズに合ったことでもあちの20年があることだと思う。経営を考えると難しいことは多いだろうが、前向きに取り組んで欲しい。

・所沢市の事業者協議会の動きにも期待したい。↑鏡\きちんと問題点を定めて改善する方向で議論しなければ事業者連絡会も意味がない。現場の声がやはり大事で、これが現場に課された課題だ。忙しさに追われているとしても発信して欲しい。

・特養は空きがあるという。↑鏡\多摩地区では空きがでている。特に個室では空きがあり、多床室に空きがない。特養を社会福祉法人だけではなく、民間にも認めるか、入所決定委員会

を公的にするか、議論する必要があると思っっている。

■「介護保険制度は持続可能なのか」財源問題に目を奪われていると、担い手不足やサービスの質・量が劣化してしまふ。介護事業者にも発信する責任がある、という指摘はその通りだと思います。漠然とした安心ではなく、元気な高齢者の方々にも現状を深く知って欲しいと思っました。知らせることは高齢協の役割の一つでもあります。





Video コーナ



130余りの写真が並ぶ展示会場

まあち 20周年記念
写真展

希望の一滴
中村医師、アフガン最後の言葉
志を後世へ――
「百の歩留りより一本の用水路を」

中村 哲
写真展

医療支援のための赴任した医師が
二十五年後、アフガニスタンの
僻地で本を志して
奮闘していた経緯とは

開催：2021年1月23日(金)～1月28日(金)
11時～17時(最終日は10時～17時)
会場：所沢市役所1階 市民ギャラリー

主催：市民高齢協(社)・市民高齢協
所沢地域福祉推進委員会(まあち)
実行委員会
〒359-8502 所沢市本町2-2-1
TEL 04-2947-7171
FAX 04-2947-7166
URL: http://www.machi.or.jp

【感想文抜粋】

コロナ禍にも関わらず、700人余りの方々に来て頂くことが出来ました。中村哲さんの活動に共感する方々が沢山いらっしゃることビックリしています。また、感想も沢山寄せて頂き、励まされました、ほんの一部ですが、紹介させて頂きます。

■手作り感あふれる展示会でしたが、中村哲さんのこれまでの活動をまとまった形で見ることができると、意義深いものと思います。

■余りに大きな存在を不幸な形で失くしてしまいましたが、小さな形でも今後何かしらの支援を自分なりに考えていきたいと改めて思いました。この企画をした「まあち」の皆さんに拍手！ すてきな活動をこれからも続けて下さい。

■中村哲さんの遺志に触れられるとても良い機会でした。これからの様な写真展を続けて欲しい。

■中村哲さんの本から抜粋

された写真の横に貼ってあるコメントに心揺さぶられました。心に刺さりました。ビデオも凄く良かったです。

■自然が壊されているのも、自分達に罰が返ってきているのだと思います。この先も色々と災害が起こると思います。戦争などしている場合じゃないのですよ。地球の全世界の一人一人が力を出して、小さな一歩からコツコツと歩み続けられ、又少しづつ回復すると私は確信します。有難うございました。

■中村医師がここまでされていたとは知りませんでした。ところどころ展示されている中村医師の言葉が胸にささりました。

■砂地が緑になった現実。大小にかかわらず、できることは沢山あり、それを少しでもすること。それが、やはり大切だと勇気づけられました。

■水が出る事、食事できる事。あたりまえの毎日を送っている私達。毎日に感謝しながら生活しなければ・・・と改めて実感しました。

■中村先生のご家族にも感謝！



藤本市長と増田さん



写真と解説・哲さんのことば



■「すごい、素晴らしい人ですね」と一言で言うのは簡単です。それを実行し、やる！という事は簡単ではありませんね。哲さんのような心持ちがあれば、出来ない事はないと思います。■ビデオの上映も解りやすくて良かったです。本当の意味の国際貢献、中村さんの活動をもっと多くの人が、若い人にも知っていただく機会をまた設けていただきたいと思いました。分かりやすい説明書きもありがとうございました。

■医師でありながら、アファガンの地に農作物を植える迄の苦労、水を引いて作物を育てるのに成功され、現地に方々に尊敬された事、大変な方が殉職されたのは悲しいです。

■亡くなられてから中村哲さんの存在を知りました。活動の様子を知ってから親子で興味を持ち本やテレビを見ています。とても素晴らしい活動だと思えます。親子で見学出来て良かったです。

2022～2024年度 総代選挙公告

定款第48条に基づき総代選挙規約により次の要領で実施します。

2022年3月10日

選挙管理委員会

◇候補者受付期間 3月20日～5月20日

◇総代の選挙区分と定数

- | | | |
|--------------|-----|--------|
| (1)東部地区 | 13名 | |
| (2)中央部(北部含む) | 38名 | |
| (3)西部地区 | 42名 | 合計 92名 |

◇任期 2年間(定款50条 再任可)

◇選挙方法(選挙規約第8条)

候補者が定数以下の場合全員を当選者とし、候補者が定数を越えた選挙区についてのみ投票となります。

◇候補届送付先及び連絡・照会先
事務局・総代選挙管理委員会

〒359-110. 所沢市向陽町 2001-3
TEL04-2941-2111 fax04-2941-2099

2022～2024年度 役員(理事・監事)選任

定款第20条に基づく役員選任規約により次の要領で行います。

2022年3月10日

役員推薦委員会

◇立候補受付期間 4月10日～5月20日

◇役員定数 以下の2選任区分となります

◇選任区分

- | | | |
|---------|-------|-------|
| (1)全体区分 | 理事 6名 | 監事 2名 |
| (2)地域区分 | 理事 7名 | |

◇任期 2年(定款23号 再任可)

◇立候補受付方法

立候補される方は下記事務局にご連絡下さい。

◇選任方法

選挙規約第5条による役員推薦委員会の推薦に基づき理事会に付議され、総代会の議案として提出され審議・選任されます。

◇事務局・総代選挙管理委員会

〒359-110. 所沢市向陽町 2001-3
TEL04-2941-2111 fax04-2941-2099

花は咲けども嘶せども

神様がくれた高座 立川談慶 著

不器用をこじらせたような男が芸人になった。

「上手く生き抜けるわけがない。でも、だから、愛しい。」

という立川談春の帯のついた、「真打目指して奮闘する若き落語家の笑いと涙の人情物語」である。著者をモデルにしたような二つ目、山水亭錦之助は、穴のあいたラジオ出演に一喜したものの、無茶ぶりの「青空落語」をさせられる。

錦生師匠の稽古や出会う人々に学び、呼ばれた席でまた学ぶ。「七重八重 花は咲けども」の「道灌」を踏んだ書名である。羽織を着られる二つ目になって花は咲いたが「まだ真打のような実には成長していない。それが二つ目というポジションなのかもしれない」。

第一話 小児科病棟の弟子

早産だった次男の優が入院した病院には、治っても退院できない小6の子がいた。陽気な素振りの身の上に打たれた錦之助は小喃を教える。今までは小さな子たちが退

院するたびに見送り続けてきた太一が、今度は初めて送られる日の「しようにびようとらしくごかい」

「どう、師匠！似合うかな？」妻が丈詰めしてくれた着流し姿。彼の笑顔の下に横たわるものすごさにたじろぎながら、出囃子の中、初披露に楽屋(物置)から高座に向かう太一を見送る。

第二話 高座の上では魔法使い

仕事ばかりで手遅れになった末期癌の鉄工所の主人は、人生の最後に生落語を聞きたいなど。

前ネタで笑わせての一席は、鉄板の古典「禁酒番屋」。酒のウソだと疑う侍役人に徳利に入った小便を嗅がせる。

「…この正直者め」というオチを言い終えると4人の歓声がMAXになった。

娘さんからいただいた高価な「お召縮緬」を前にして「笑い」という魔法をかけてひと時でも元気にするなんて、すごすぎます。そんな魔法のお

かげで父は安心したような表情を浮かべて旅立っていき「けました」と言われ鼻をすする。

第三話 花は咲けども、嘶せども

まばらな客席にまた来てくれた小5の男の子。放送の手違いから、善光寺由来の「お血脈」の最中にブランデーグラスのカラオケが入って台無しになった青空会場で、錦之助はたった一人でも喜ばせることができたなら、に辿りつく。

四年生にレギュラーを取られてリトルリーグの補欠で我慢している連樹くん。その健気な視線の先に一体何があるのだろうか。

第四話 老人ホームの師匠

演目は親からオアシンをせしめる真田小僧と妾馬。殿様の目にとまった妹の鶴が目出度くご出産。おふくろに初孫を一度だけでも世話させてほしいと殿様に懇願する八五郎の口ききに笑い、おぼあちゃんの切なさに涙する。が、お年寄りの半分しかウケず外ばかり見ている。終わってホーム長の白石に聞く「今日の落語と全く同じ」。

「孫はいつ会いに来てくれるかなあ」って外を見てるんだよ」と。そこに入ってきたお時さんから「あんたさあ、都々逸悩んでるんでしょ」言われ、身体に電気が走った錦之助は稽古をつけてもらうことに。

第五話 落語とは人間の業の肯定である

「文化講演会」落語から学べることを「という大仰な立看板。(よりによって朝志郎の代演とは)」

「あれっ、誰だよ、あいつ」飛んだヤジを「朝」ご飯を食べていましたネタ」で爆笑させると、前半は「落語のガイドダンス」的なものをしゃべることにした。「いいですか？落語は、人間ってダメでいいんだよって教えてくれます」。

知ったかぶりの和尚さんの「天失気」で笑いは増して、「金明竹」で与太郎話のオチが決まると、口笛混じりの割れんばかりの大団円となった。

校長先生から来たキュポロの積み木には、赤い髪で見に来ていたゆかりの継父からの手紙が入っていた。その夜、ゆかりが「今日、学校で聞いた落語がとても面白かった」と言い出した。そして最後は「私、今まで素直じゃなくて反発していたかも。…」と言う娘に「お父さんこそ…ごめん」とお互い謝り合い、ふと気が付くと自然と「お父さん」と呼ばれていたというエピソードで締めくくられていた。

専務理事 鈴木義広





「拍手」と「涙」 「温かな眼差し」「励ましの声」

所沢駅中央広場に1台のピアノが置かれています。今はやりの駅ピアノ(ストリートピアノ)です。老若男女誰でも自由に弾くことのできるピアノで所沢市文化芸術振興課主催です。

演奏しているのは千頭和達さん(25歳)です。駅を行きかう人が一人二人とピアノ演奏に足を止め聞き入っています(写真下)。

千頭和さんは生まれた時から光を感じることはありません。盲学校に通い音楽大学にも進学されました。ピアノは小学校の時に通い始めたピアノ教室で習いました。それ以来、ピアノに親しみ、音大ではクラシックやジャズポップ、作曲などにも取り組まれ、その活動は今も続いています。

私たちがまあちとの関わりは、今から4年前です。所沢にある国立リハビリテーションセンターに通うために、千頭和さんとお母様と所沢に転居されたことがきっかけです。家族と離れて、二人だけの生活も大きな決断だったと思います。そして、所沢の暮らしが3年を迎えたころ、お母様が突然病気で倒れ、家族の願いもむなしく、千頭和さんの25歳の誕生日を待たずに他界されました。

お父様をはじめとして、家族の皆さんは千頭和さんに一緒に暮らすことを要望されたようですが、千頭和さんは一人で所沢で暮らすことを選択され、今もまあちのヘルパーが支援を継続しています。ピアノ演奏もこれまでと変わらず、デイサービス、子供食堂、駅ピアノと活動を続けています。お父様は

週末には所沢へお出でになり、駅ピアノの演奏は家族で聴きにいられています。3月からはピアノの先生について、更に腕を磨こうとされており、私たちヘルパーも大いに励まされています。

【後記】

今年も変わらず「桜の季節」がやってきました。年齢を重ねると一年の時間の経過に、いとおいしさを感じます。四季のある国に生まれた幸せを噛みしめる感じます。特に春の桜は格別です。南北に長い列島を彩るピンクの花は、淡く柔らかく、疲れた心を和ませてくれます。コロナで外出を控え気味でしたが、暖かさにも誘われてウォーキングを楽しみたいと思っています。



組合員募集

私たちの仲間になりませんか!

私たちは「仕事」「福祉」「生きがい」活動に取り

組む高齢社会を支え合うために生まれた生活協同組合です。気軽に関係なく、年齢に

どなたでも協同組合に入れます。老若男女が支え合う「福祉のまちづくり」に、あなたも一緒に!

【加入にあたって】

①所定の加入申込書

②出資金(一口千円から必要です)

お申込み・お問い合わせ

0429412111

年会費・月会費は不要です。

映画上映サークルをつくりませんか？
わたしのおすすめ映画

「鉄道員」IL Ferroviere

1956年イタリア・モノクロ映画カンヌ映画祭・国際映画事務局賞

平山清一さん(上尾・理事)

いわゆる高倉健や広末涼子の出演の有名な日本映画、鉄道員(ぼっばや)とは異なり、1956年上映のモノクロの古いイタリア映画になります。日本映画、鉄道員(ぼっばや)もなかなかの名作ですが、簡単にあらすじを記します。

鉄道機関士のアンドレアは30年以上真面目な鉄道員として働き、定年も近い50歳過ぎの初老(?)の男性であり、私生活では妻と子供3人を持つ家庭でも真面目で厳格な夫であり、父でもあった。そんな鞅にうるさい父を長男と娘は疎ましく思い、何かにつけて反発していたが歳が離れて授かった末息子は鉄道機関士の父を

英雄視していて尊敬していた。アンドレアは職務中に見知らぬ若者が自分の運転する汽車へ飛び込み、自らの命を絶つてしまう事故に遭遇。これまで長年、仕事に問題がなく真面目に運転に従事してきたのに、相当なショックを受けて心を病んでしまう、さらにトラブルは続き、運転中に赤信号を見落として、大きな列車事故につながる危険なミスを起こしてしまう。

このことでアンドレアは機関士としての役職を外され、左遷させられてしまう。仲間からも陰口をたたかれて、次第に鬱になり孤立してしまう。自暴自棄となり、酒に溺れ、家にも帰らなくなってしまう。家庭の中でも夫婦喧嘩が絶えなくなる。不幸は重なり、娘も不倫の原因で父と激しく口論し家を出てしまう。自宅は安息する場所ではなくなり、寂寥な心境となるアンドレア。しかし末息子はそんな父を温かくそして、優しく支え続け、その心ある対応のおかげで少しずつだが元気を取り戻し、妻や娘とも徐々だが和解し始める。

この映画は日常生活の中でこの出来事であり、私たちが誰しも経験する身近な物語かもしれないと観る者に訴えてくる。何がおころうと家族だから、いつかは歩み合うのだと観ている私達も納得してしまう。

この鉄道員という映画は映画史上に燦然と輝く名作中の名作。主題曲もとても秀逸で哀愁を帯びたギター



鉄道員



の音色。きつとどこかで耳にした曲調だと思えます。しかし、イタリア映画には本当に感服します。「道」、「自転車泥棒」、「ひまわり」、「ニューシネマパラダイス」、「マレーナ」等々、物語もさることながら音楽も前記のように素晴らしいものばかり。

啓蟄の季節に入り、穏やかな休日の午後にも家族とのんびりと観て欲しい映画です。

P.S. そう、家族が一番大切です。